

授業科目 成人看護学実習 II

【担当教員名】 目黒 優子	対象学年	3・4	対象学科	看護
	開講時期	前期（4年）・後期（3年）	必修選択	必修
	単位数	3	時間数	135
【カリキュラムポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○	◎	○
【概要・一般目標：G10】				
慢性期実習 慢性的な健康障害をもつ対象者およびその家族が直面している問題を総合的に理解し、対象者の問題解決に必要な看護過程を実施し、看護実践能力を習得する。				
緩和ケア見学実習 緩和ケア・ターミナルケアを必要とする対象に応じた看護の実践を理解する				
【学習目標・行動目標：SB0】				
慢性期実習				
1. 慢性的な健康障害をもつ対象者の全体像が理解できる				
2. 慢性的な健康障害をもつ対象者の病態および治療について説明できる				
3. 対象者のもつ健康障害をセルフケアの視点で看護計画を立案し、実施し、評価できる				
4. 対象者とその家族の退院後のセルフケアを支える社会資源の活用ができる				
5. 対象者のQOLを支える保健・医療・福祉チームにおける看護職の役割を理解できる				
緩和ケア見学実習				
1. 緩和ケアを必要とする患者のQOLの支援を知る				
2. 末期患者の安楽な日常生活の支援を知る				
3. 患者の心理・社会・霊的な状態に対する支援を知る				
4. 家族の心理状態に対する支援方法と家族の役割を知る				
回数	授業計画・学習の主題		SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
	成人看護学実習 II は、慢性期実習と緩和ケア見学実習に区分される 実習オリエンテーション 慢性期実習 ・原則としてひとりの患者を受け持ち、看護の実践を行う ・カンファレンスを通し、慢性的な健康障害をもつ対象者への看護を深める 緩和ケア実習 ・緩和ケア病棟の見学を通して、緩和ケアを必要とする対象者の理解を深める ・緩和ケアに関わる看護師の役割について学ぶ			
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書	適宜、提示する			
その他の資料	授業で配布した資料			
【評価方法】 実習内容、実習記録、出席状況、実習態度などを総合して評価する		【履修上の留意点】 健康管理に留意し、欠席しないようにしてください		